

団体名	森びとプロジェクト
活動地域	栃木県日光市、岩手県八幡平市、福島県南相馬市、宮城県仙台市、名取市
団体概要	毎年巨大化している台風の猛威、豪雨や干ばつ、熱波による森林火災、氷河の溶解による海面上昇など気候変動の影響は世界各国の市民の生活を脅かしていますが、もはや市民の植林活動だけでは温暖化にブレーキをかけていくことには微力です。昨年より育樹活動及び啓発活動を両輪として活動をしています。足尾と南相馬では木々がどのような森に生長しているのか、森の機能や森の防潮堤に生きる生物たちの変化などを掴み、育てた森を宝物に感じてもらう森の案内をしています。今年は、宮城県名取市、仙台市荒浜でのいのちを守る森の防潮堤及び岩手県八幡平市松尾鉱山跡地も植樹規模が大きいので、草刈りツアーを企画します。最後に、東京では年に4回、東京都内の公園の森を散策し、人間は森に生かされていることを五感で体感してもらうエコ散歩を継続してをつくります。興味のある方は、ぜひ参加してください！ <a href="http://www.moribito.info/">http://www.moribito.info/</a>



写真①

福島県南相馬市



写真②

栃木県日光市

説明①

今日の作業は、第8回植樹会場（2020.10.25）の草刈り作業と苗床の水撒き、補植の苗木の選別作業を行うことにしました。応援隊は、事前のサポートとして植樹会場周辺の草刈りをすることにしました。早速、刈払機のメンテナンス、手袋、長靴、安全メガネの着用と蜂等の虫対策をしながら一人一台をうまく操作しながら行いました。コロナ禍のため2年間、除草・補植作業を中断していたためヨシやセイタカアワダチソウも背丈ほど伸びすぎてスタッフ一同驚きを隠しえません。人間の都合で野放しにしておく、このようになってしまうことが実感としてわかりました。エンジンをふかしながら、草と

説明②

昨年、コロナ禍で地球温暖化に少しでもブレーキをかけたいと植樹を希望する方に代わり、足尾の森づくりスタッフが「白沢西の森」に苗木を植えてきました。今年は会員の皆さんや森ともの皆さんと植樹が出来ることを願いましたが、まだまだ世界中で新型コロナウイルス感染が落ち着きません。今年第1回目となる「里親植樹」には84名、3団体の皆さんから参加申し込みをいただきました。前日までに苗木やスコップが「白沢の森」入口の柵内に準備されているので、背負いかゴと背負子を軽トラに積み「白沢西の森」に向かいました。本日の植樹地「C、B、あ、い」の順に苗木を運び、

格闘しケガもなく無事終わりました。汗をかきつつ水分補給しながらの達成感はひとしお、みんな満足顔での集合写真です。

同じ樹種が並ばないように苗木を確認しながら篠竹のところに並べていきました。まずは階段東側の「C、B」植樹地から植樹をスタート。植樹地の砂土を掘り、黒土と“まじえる、まじえる”して土壌を柔らかくし、苗木を丁寧に植えていきました。植えた後は風で苗木が振られないように一本一本麻ひもで篠竹に縛りました。9時の気温は16℃でしたが陽が照り付け汗ばむ陽気となりました。時折松木川源流から吹き抜ける風が心地よく感じ、緩斜面の森からはエゾハルゼミやキジの鳴き声が響き、私たちが応援してくれているようでした。



写真③

栃木県日光市



写真④

福島県南相馬市

毎月第3水曜日に設定している育樹デー（作業集中日）です。午前中の作業は今年も実施する“里親植樹”の植樹地「白沢西の森」の土留め作りと整地、黒土の荷揚げを行い、午後は新たな植樹地「りんねの森」の獣害予防用柵の設置を行うことにしました。土揚げ班と整地班に分かれて作業を行いました。黒土が入った袋は劣化し破けているものもあり、背負い籠を使ったりと苦労しながら運びました。また、整地班は土留めが崩れているところを修繕しながら、土留めが完成しているところの整地を5段行うことが出来ました。午後の作業は、最初に「りんねの森」の湿地に流れる雨水の水路を作るための硬質ゴム製の管を柳澤さん

#### 説明④

6/1から準備を進めてきた南相馬市鎮魂復興市民応援隊、森びと福島県ファンクラブの皆さんと、この日入りした森びとメンバーとが一同に会し、翌日の本番（第10回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭）に向けての英気を養う会を開催しました。中村代表からの明日に向けての挨拶と高橋顧問の乾杯で始まり、歓談のあと応援隊の皆さん、福島県ファンクラブの皆さんの一言挨拶で盛り上がりました。震災直後から南相馬市の進める復興事業の1つである「いのちを守る森の防潮堤づくり」を応援し、2013年10月6日開催の第1回植樹祭からの思い出、市役所と連携した草刈りの開催、将来への希望等を語りあいました。

がトラックで運んでくれたので、荷台から降ろして雲集亭に一時保管しました。また、大塚さんは、「病気」になっている桜の木の枝の剪定をしてくれました。その後、2班に分かれて「りんねの森」の獣害防止柵の設置を行いました。1班は先日に残した一番下の植樹地を完成させ、2班は、上のハウス横の植樹地を行い、2/3程が完成しました。